

青森県・岩手県北勢4校の県大会チーム成績

高校	試合数	打数	安打	塁打			打率	得点	打点	四死球	犠打	盗塁	三振	失策	失点
				本	三	二									
青森山田	5	147	50	2	2	9	.343	43	38	30	13	13	15	4	4
八学光星	5	166	45	1	3	1	.265	26	19	28	9	3	20	4	22
青森北慈	5	166	51	1	5	1	.306	26	22	13	15	5	35	3	13
久慈	4	114	37	3	3	7	.340	26	24	17	9	1	24	3	7

春季東北地区高校野球きよう開幕

青森勢3校V目指す

岩手第2代表の久慈も

第72回春季東北地区高校野球大会は10日、山形県のヤマリョースタジアム山形、米沢市営球場の2球場で開幕し、東北6県の代表14校が頂点を目指してしのぎを削る。

青森県からは第1代表の青森山田、第2代表の八学光星、第3代表の青森北慈が出場。岩手県からは久慈が第2代表として臨む。

青森山田は総合力の高さが売り。安定感抜群のエース山下大昂を中心に、タイアの違う豊富な投手陣を擁し、県大会5試合で4失点と堅守が光る。打撃も上位から下位まで切れ目がなく、長短打に加えて犠打や走塁なども絡めるなど、機動力

の大きさも兼ね備える。2年ぶりの東北王者を狙う八学光星は、県大会5試合で22失点と、投手陣が不調。主に抑えとして起用された2年及川琉汰が、安定した投球を見せたことが収穫。久保諒之輔や山上春人ら、一発も期待できる中軸を擁する打撃陣の復調が、上位進出の鍵を握る。

42年ぶりの東北大会出場をつかんだ青森北は、エースの神崎士を中心、守りからリズムをつかむ。攻撃は、先頭で打力がある赤田叶真（東通中出）が出塁し、勝負強い中軸で得点につなげる。

久慈は、中学時代にKボールで全国準Vに輝いたメンバーを中心に、着実に実力を伸ばしてきた。エース宇部奨人は、緩急巧みな投球が武器。打つては先頭の宇部智也、4番の和野虎牙ら勝負強い打者が顔をそろえる。投打がかみ合えば、上位進出も十分に狙える。

4校とも10日の1回戦から登場。ヤマリョースタジアムで、久慈―山形中央（山形②）、試合開始午前9時）と、青森山田―山形城北（同③、同午前11時半）を実施。米沢市営で青森北―聖和学園（宮城②、同午前9時）と、八学光星―盛岡大付（岩手①、同午後2時）を行う。

（大西桂介）

八学光星（青森県第2代表）

八学光星・仲井宏基監督
レベルの高いチームとこの時期に試合ができるのはありがたい。課題を修正して、夏につながる大会にしたい。

八学光星・山上春人主将
青森県大会では多くの課題が出た。全員でチームプレーに徹し、勝利をしっかりと手にしていきたい。